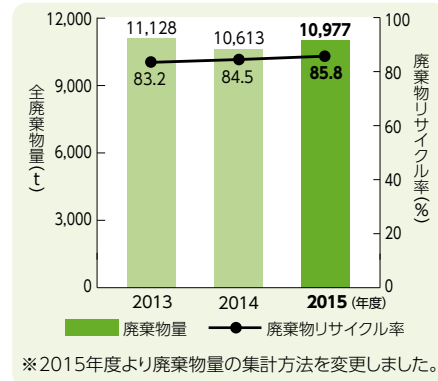


廃棄物削減・リサイクルの概要

ヤマナカでは3R(Reduce:発生抑制、Reuse:再使用、Recycle:再資源化)にもとづき、地球環境保全に取り組んでいます。

- **廃棄物を出さない発生抑制の取り組み**
…商品のバラ売り販売やレジ袋無料配布の中止、廃棄商品の削減等
- **繰り返し使えるものは繰り返し使う再使用の取り組み**
…通箱の活用、ビール瓶等の回収、詰め替え商品の積極的な取り扱い等
- **もう一度使える形に加工する再資源化の取り組み**
…容器包装や食品廃棄物のリサイクル、リサイクルボックスによる容器回収等

◎全廃棄物量の推移

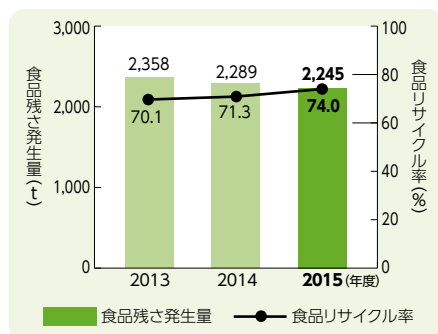


食品リサイクル

調理の際に発生する野菜くずや魚のアラ、肉脂、廃食用油などは、有用な資源として肥料や飼料、油脂としてリサイクルされています。当社でも食品廃棄物の有効利用に積極的に取り組んでおり、2015年度は食品廃棄物のうち74.0%をリサイクルしました。また、名古屋市内21店舗では市と協同で、お客様から廃食用油を回収させていただいています。さらに当社では「おかえりやさいプロジェクト」の事業者メンバーとして、堆肥の原料となる野菜くずの排出と、その堆肥を使って生産されたブロッコリーの販売を行っています。おかえりやさいプロジェクト主催のリサイクルループを巡るツアーでは、参加者の方にヤマナカのバックヤードやおかえりやさいの売場を見学いただいています。



◎食品残さ発生量の推移



おかえりやさいプロジェクトについて

「おかえりやさい」は、名古屋市のスーパーマーケットやレストラン、学校給食などから排出される生ごみ(食品循環資源)を堆肥化し、それを使って名古屋市や近郊の農家で作られる野菜です。名古屋市のごみの削減や地産地消によるフードマイレージの低下、生育時の化学肥料や農薬の減少ができる農作物でもあります。おかえりやさいプロジェクトは、名古屋市の第4次一般廃棄物処理計画策定の際に、市民提案を行うために集った名古屋市民を母体とし、2008年2月に発足しました。「名古屋市の生ごみをもっと減らそう!」という想いを共有する市民・NPO・事業者らが連携して活動を進めています。

2016年2月には、その活動が認められ、愛知環境賞中日新聞社賞を受賞しました。



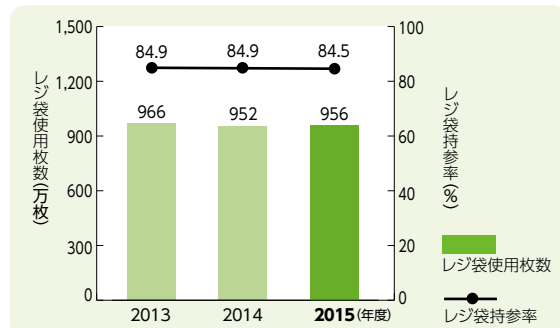
レジ袋無料配布中止の取り組み



ヤマナカでは、2007年に名古屋市のモデル事業に参加したのを皮切りに、レジ袋の無料配布中止を進めてきました。2015年度までに66店舗が無料配布を中止し、お客様のご協力のもと、レジ袋持参率は84.5%となっています。なお、有料レジ袋販売による収益金は全額地域の自治体などに寄付され、環境活動などに活用されています。

2015年度 寄付金額 **3,295,263円**

◎レジ袋の使用量(有料化実施店舗+未実施店舗)の推移



リサイクルボックスによる容器回収

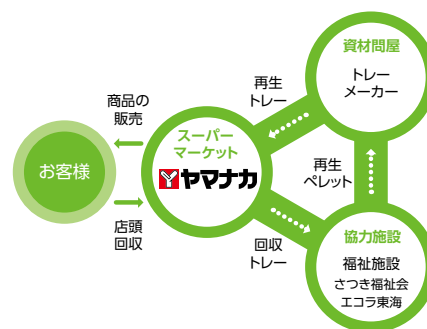


ヤマナカではお客様とともに行う環境活動として、各店舗の店頭においてペットボトル、発泡スチロール製トレイ、牛乳紙パック、アルミ缶などの資源回収を行っています。回収したペットボトル、発泡スチロール製トレイなどは繊維やトレイの原料などにリサイクルされています。また、2013年度からは新たに透明トレイの回収も一部店舗で始めています。



発泡スチロール製容器のリサイクルシステム

ヤマナカでは、環境と福祉を両立させた取り組みとして発泡スチロール製容器のリサイクルを行っています。当社から排出される発泡スチロール製容器を知的障がい者福祉施設に有償で回収していただき、破砕・減容してペレット化し、それを食品容器メーカーに販売することによってリサイクルを行う仕組みです。社会福祉法人さつき福祉会と連携し、発泡スチロール製容器の破砕・減容を行うリサイクル施設「エコラ東海」を立ち上げ、取り組みを継続してきました。また、愛知県内の5ヵ所の福祉施設にも容器の回収・破砕に協力していただき、現在60店舗としおなぎ生鮮センターでこのリサイクルシステムに取り組んでいます。



リサイクルステーション



家庭から出るペットボトル・アルミ缶・新聞紙・衣類などの資源ごみを回収するリサイクルステーションを、一部店舗において設置しています。グラッチェカードのポイントに交換できるエコポイントを導入することで、地域のリサイクル活動と地球環境保全活動を推進します。

